

経営方針

当会は、愛媛県を事業区域とし、ＪＡバンク会員である県内12ＪＡと当会が、「ＪＡバンクえひめ」を構成し、お互い助け合い発展していくことを共通の理念として運営する相互扶助の農業専門金融機関であり、地域経済の活性化に資する地域金融機関です。

農家組合員および地域の皆さまが県内のＪＡにお預けいただいた大切な財産である貯金を源泉として、愛媛農業発展のために農業融資に積極的に取り組むとともに、地域経済の発展に寄与すべく地元企業や地方公共団体などへの融資にも積極的に取り組んでおります。

また、資金供給や経営支援などの金融サービスの提供にとどまらず、環境、文化、教育といった面も視野に入れ、広く地域貢献活動にも取り組み、お客さまから親しまれる金融機関を目指しております。

経営理念

ＪＡとともに、農業・地域金融機関として
愛媛農業の振興と活力ある地域社会の発展に貢献します。

中期経営計画

当会が策定した中期経営計画では、既往施策に加えてＪＡバンク自己改革を実践し、完遂することで、地域の皆さまに一層必要とされるＪＡバンクえひめを目指すこととしております。

各施策の着実な実践に向けた対応策の一つとして、「地域振興部」を新設し、農業金融の強化ならびに地方自治体の「地方版総合戦略」実践へ積極的に協力できる態勢を構築するなど、役職員一丸となって取り組んでおります。

中期経営目標

ＪＡとともに総力を結集し、ＪＡバンク自己改革を実践することで、食と農業を通じて、地域の皆さまに一層必要とされる金融機関、ＪＡバンクえひめを目指します。

基本戦略

安定的収益還元機能の強化

〔主要施策〕

- ①収益力の強化
- ②経営の合理化・効率化
- ③経営・業務管理態勢の高度化
- ④財務基盤の充実
- ⑤組織力の強化

ＪＡバンクえひめ本部機能の強化・ＪＡバンク自己改革の実践

〔主要施策〕

- ①農業メインバンク機能強化支援
- ②生活メインバンク機能強化支援
- ③人材開発支援
- ④チャネル（店舗）戦略支援
- ⑤業務基盤強化支援
- ⑥健全性確保等支援

<参考> ＪＡバンクえひめ中期戦略3大目標

- ＪＡバンク自己改革の完遂
- 愛媛県下農業融資シェア40%の堅持
- 愛媛県下ＪＡ貯金2兆円の達成

経営体制

当会は、経営意思決定機能と業務執行機能を分離することで、経営の一層の健全性向上と専門性・機動性のある業務執行に努めております。具体的には、業務の基本方針や貸出限度額の決定などは会員の代表で構成する経営管理委員会が行い、経営管理委員会が定めた枠内における日常の業務執行を実務に精通した者で構成する理事会が業務執行する仕組みになっております。

経営管理委員会は意思決定機能のほかに理事の職務遂行の監督機能も有しており、理事の職務遂行の合法性・合理性・適切性などを監督しております。

